



▲私(左)と娘

音楽とキリスト教文化が生活の一部

ジョンソン 薫^{かおる}さん(アメリカ合衆国・ブレントウッド在住)



▲ミュージックのバーが並ぶ「ブロードウェイ通り」



▲前に住んでいた家には、裏庭に桜の木が2本



▲教会のホールで。コーヒーや紅茶を飲んで、みんなくつろぐ。

「音楽の街」・ナッシュビル

私が住むアメリカ・テネシー州はアメリカ南部にあります。州都は「ミュージック・シティ」という通称で知られる「音楽の街」ナッシュビル。音楽の主流はカントリー・ミュージックなのですが、「クリスチャン・ミュージック」^{※1}もかなり盛んで、いろんなジャンルの音楽が熱い街。日本で最も知られているのはエルビス・プレスリーだと思えますが、最近ではテイラー・スウィフトもナッシュビルを起点に活動しているミュージシャンです。「音楽通り」と呼ばれる通りには有名なレコーディングスタジオが集まり、「ブロードウェイ」という通りには生演奏が流れるバーが立ち並んでいて、音楽ファンや観光客を楽しませてくれます。

私はナッシュビル郊外のブレントウッドという街に住んでいるのですが、



ここにも音楽に関わっている人たちが身近にたくさんいます。例えば、私が所属しているジョギングクラブのメンバーのご主人がプロのミュージシャンだったり、テニスチームのメンバーの女の子はプロの歌手を目指して全国テレビのオーディションに出たりと、生活の中に音楽があるのは当たり前で、音楽関係の仕事やアルバイトに就いている人も多いです。

フレンドリーな人たちの仲間入り

日本語教師をしていたシカゴでアメリカ人の夫と結婚し、夫の仕事の都合でテネシー州に転居してからもう11年。住み慣れたシカゴから、「テネシーってどこ?」というほど何も知らない場所に来るのは不安だったのですが、すぐに馴染めたのはこちらの人が人懐っこく、優しさに溢れていたからです。通りがかった人はみんな、満面の笑顔であいさつをしてくれます。あんまり親しげなので、引っ越した当初は「この人知り合いだったかな?」なんて戸惑ったりもしましたが、優しさは伝染するもので、今では私も笑顔であいさつができるようになりました。

アメリカの「フレンドリーな街トップ10」の上位に選ばれるナッシュビルですが、それはキリスト教徒が多い「南

部のバイブル・ベルト」^{※2}と呼ばれる地域にあり、キリスト教の文化や教えが生活に浸透していることもその背景にあると思います。街にはカフェの数より教会の数の方が多いくらいです。そして、「メガチャーチ」と呼ばれる巨大な教会があちこちにあって、私が家族と日曜に行く教会には毎週3,000人以上が集まります。メガチャーチはコンサートホールのようになり、ここでも音楽が盛んです。

テネシー州には、日産やプリチストンといった日本の大手企業のアメリカ本社があることもあって日本人がたくさん住んでいます。駐在員やその家族のために、日本人の教会が英語クラスや季節ごとのイベントなどを通じてさまざまなサポートをしています。毎年4月には桜の花も咲く、日本とは遠くて近い存在のテネシーです。ぜひいつか、いらしてくださいね。(文・写真:ジョンソン 薫^{かおる}さん)

※1 クリスチャン・ミュージック: キリスト教の聖書や信仰に基づくメッセージを持つ歌詞の音楽ジャンル。ゴスペル、賛美歌、聖歌や、ポップスやロック(「コンテンポラリー・クリスチャン・ミュージック」)もある。

※2 アメリカ中西部から南東部の複数の州にまたがる地域で、キリスト教のさまざまな宗派が共存している宗教心の強いと言われる地域。